

---

 記 事
 

---

## 例会記録

## 日本医史学会・第34回神奈川県地方会秋季会

9月合同例会 平成21年9月12日(土)

鶴見大学歯学部3号館2階3-1講堂

## 一般講演

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. 仏教思想と穢れとの関係 |       |
| 一相反する両者の融合—    | 杉田暉道  |
| 2. 救らいの父・光田健輔  | 佐分利保雄 |
| 3. 森鷗外と原田直次郎   | 荒井保男  |
| 4. 漢代の医学       | 家本誠一  |

## 特別講演

血圧測定とその考察の歴史	栃久保修
--------------	------

## 日本医史学会10月例会 平成21年10月24日(土)

順天堂大学医学部10号館2階カンファレンスルーム

- |                    |      |
|--------------------|------|
| 1. 『医林改錯』の気血観      | 越智秀一 |
| 2. パラケルススの薬物療法における |      |
| アロパティーとホメオパティー     | 小原正明 |

## 日本医史学会11月例会 平成21年11月28日(土)

順天堂大学医学部9号館2階8番教室

- |                      |      |
|----------------------|------|
| 1. 彦根市のマラリア対策        |      |
| —自主製作映画「翼もつ熱病」に関する考察 | 田中誠二 |
| 2. 母乳をめぐる自然概念の歴史的変遷  |      |
|                      | 梶谷真司 |

## 例会抄録

## 在ドイツ森林太郎あて書簡にみる帝国大学医科大学事情

岡田 靖雄

在ドイツ森林太郎あて書簡は、その前半が鷗外記念本郷図書館に蔵され、後半が日本近代文学館におさめられている。日本近代文学館が1983年に刊行した『日本からの手紙 日本近代文学館所蔵滞独時代森鷗外宛 1886-1888』は、6月分もすこしまじる1886年7月から1888年4月、つまり、森林太郎のミュンヘン、ベルリン時代のものである。全121通で、差し出し人は森静男(父)44通、森篤次郎(弟)45通、森キミ(妹)15通、森潤三郎(弟)3通、家族外では石黒忠恵1通、石坂惟寛2通、緒方惟準1通、緒方収二郎1通、賀古鶴所1通、呉秀三2通、小池正直4通、小金井良精1通、永松東海2通である。森篤次郎(当

時医科大学生、のち三木竹二名で歌舞伎評をものした)のものはいつも長文で、ひじょうにこまかい迫真の描写にみちている。谷口謙はひどい陰謀家として詳細にえがかれている(それは、森側に被害の疑念がつよすぎるとい印象をあたえる)。

これら、とくに森篤次郎書簡から、帝国大学医科大学に関する記述をひろった。まずおおきいのは、医学教育制度の改革である。1886年12月10日づけで、わが級は旧4年本科生だが、大学4年となって第1学年となり、旧5等本科生は第1高等中学本科第1級となった、落第の10名は高等中学にとどめられた、とある。この年3月2日の帝国大学令で、東京大学医科大学は帝国大学医科